

2017年度支部共通事業 日本建築学会設計競技応募要領 課題「地域の素材から立ち現れる建築」

主催

日本建築学会

後援

日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会(以上、予定)

主旨

建築という言葉は、建築物そのものだけでなく、建築するという行為も意味する。さらには、生活、経済、技術、文化、芸術など様々な概念とも関係するため、社会の仕組みが複雑化した現代においては、ほとんどの場合こうした概念のレベルで議論されている。しかしそれでも、「もの」としての建築が無ければ、その概念自体も始まらない。

現代の高度な建築生産・流通システムのおかげで、地球上のどこであっても同じように建築を作ることができる。世界中どこかのショッピングセンターも、ほぼ同じ作りで同じような店舗が入るし、超高層ビルの写真だけからは、その土地を言い当てることは難しい。モダニズムが目指した国際建築という理念は、グローバリゼーションと経済的合理性を後ろ盾に着実に現実化してきた。このような建築の画一化に対する反動として、建築史家のケネス・フランプトンは、四半世紀ほど前にテクトニック(構法の詩学)という視点とともに批評的地域主義の理念を提唱した。定められた土地の上に長年建ち続ける建築は、それぞれの地域のアイデンティティを「見える化」する格好のツールでもある。日本でも地域固有の文化を見直す動きが起り、多くの公的な建築に地域の素材が用いられてきた。しかし、なかなか素材を表層的な記号として用いるレベルを超えられず、建築の成り立ちには特に関与していないことも多い。地域主義が、フランプトンが期待したような批評的レベルを獲得する道程は遠い。過去の地域の伝統を継承しながら、新しい時代の技術や経済状況に適応した力強い建築を作るというのは、あまりにハードルが高すぎるのかもしれない。この課題では、一旦地域の伝統という縛りから少し距離を置き、自由に「もの」としての素材に集中してみることにする。建築を考える出発点として地域の素材を位置付け、そこから導き出される建築の姿を提案してもらいたい。ここでの素材とは、必ずしも伝統的に用いられてきた建築素材を意味しない。それぞれの土地を注意深く観察すれば、固有の特徴的な素材があるはずだ。地域に転がっている石でも、生産される工業部品でも、集積された廃棄物でも構わない。また、その土地との関係が明確でさえあれば、建築の規模や使用目的は問わない。素材の使い方も、構造的なものから仕上げまで様々な可能性があるだろう。しかし、必ずその素材を最大限に生かした建築を構想し、その建築の持つ力が地域や社会に与える影響に思いを巡らせてもらいたい。地域の素材と真剣に向き合うことで、誰もこれまでイメージしたことのないような新しい「もの」としての建築が、ある種のリアリティを持ってその場所に立ち現れることを期待している。

審査委員長 末廣香織

応募規定

A. 課題

地域の素材から立ち現れる建築

B. 条件

実在の場所(計画対象)と用いる地域の素材を設定してください。現行の法規に適合する必要は無いものとします。

C. 提出物

①応募申込書

下記より応募申込書をダウンロードのうえ、必要事項を入力したものを印刷してください。

<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2017/compe.doc>

②計画案

下記1)~3)をA1サイズ2枚(594×841mm)に収めてください。模型写真等を自由に組み合わせ、わかりやすく表現してください。

1)設計主旨(文字サイズは10ポイント以上とし、600字以内の文章にまとめる。)

2)計画条件・計画対象の現状(図や写真等を用いて良い)

3)配置図、平面図、断面図、立面図、透視図(縮尺明記のこと)

※用紙サイズは厳守。変形不可、2枚つなぎ合わせることは不可です。裏面には、No.1、No.2と番号を付けてください。仕上げは自由としますが、パネル、ボード類は使用しないでください。写真等を貼り付ける場合は剥落しないように注意してください。模型、ビデオ等は受け付けません。

③作品名・設計主旨

「②計画案」の作品名と設計主旨(図表、写真等は除く)を記載したものをA4判1枚に印刷してください。

④データ

下記1)~4)をCDまたはDVD1枚に収めてください。

CDまたはDVDには、代表者の氏名と所属を明記してください。

1)「①応募申込書」のWordファイル

2)「②計画案」のPDFファイル(画質は350dpiを保持する。)

3)作品名および設計主旨の要約(200字以内)のテキストデータ

4)顔写真(横4cm×縦3cm以内、顔が写っているものに限る。)

※④は審査対象の資料としては使用せず、入選後に刊行される作品集および建築雑誌の原稿として使用いたします。

D. その他注意事項

①図面および設計主旨の概要用文紙には、応募者の氏名・所属などがわかるようなものを記入してはいけません。

②応募作品は、ほかの設計競技等と二重応募になる作品、あるいはすでに発表された作品は応募できません。

③応募作品は、本人の作品でオリジナルな作品であることを要求します。

E. 応募資格

本会個人会員（準会員を含む）、または会員のみで構成するグループとします。なお、同一の個人または代表名で複数の応募をすることはできません。

※未入会者、2017年度会費未納者ならびにその該当者が含まれるグループの応募は受け付けません。応募時までに入会および完納すること。

F. 提出方法

- ① 所定の応募申込書（本会ホームページから入手してください。
<http://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2017/compe.doc>）、設計主旨を入れた封筒、提出資料、データ類を納めたDVDまたはCDを一括して提出してください。
- ② 応募作品は1案ごとに別々に提出してください。
- ③ 締切期日：2017年6月26日（月）必着（17:00まで）
- ④ 提出先：計画対象の所在地を所轄する本会各支部の事務局とします。例えば、関東支部所属の応募者が、東北支部所轄地域内に場所を設定した場合は東北支部へ提出してください。海外に場所を設定した場合は、応募者が所属する支部へ提出してください。
- ⑤ 各支部事務局 所在地一覧
 - ・ 北海道支部（北海道）
〒060-0004 札幌市中央区北4条西3丁目1
北海道建設会館6階
TEL 011-219-0702
 - ・ 東北支部（青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島）
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-5-15
日本生命仙台句当台南ビル4階
TEL 022-265-3404
 - ・ 関東支部（茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨）
〒108-8414 東京都港区芝5-26-20
TEL 03-3456-2050
 - ・ 東海支部（静岡、岐阜、愛知、三重）
〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19
名古屋商工会議所ビル9階
TEL 052-201-3088
 - ・ 北陸支部（新潟、富山、石川、福井、長野）
〒920-0863 金沢市玉川町15-1 パークサイドビル3階
TEL 076-220-5566
 - ・ 近畿支部（滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山）
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
大阪科学技術センター内
TEL 06-6443-0538
 - ・ 中国支部（鳥取、島根、岡山、広島、山口）
〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47
広島県情報プラザ5階 広島県建築士会内
TEL 082-243-6605
 - ・ 四国支部（徳島、香川、愛媛、高知）
〒782-0003 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
高知工科大学地域連携棟201
TEL 0887-53-4858
 - ・ 九州支部（福岡、佐賀、長崎、熊本、宮崎、大分、鹿児島、沖縄）

〒810-0001 福岡市中央区天神4-7-11 クレアビル5階
TEL 092-406-2416

G. 審査方法

① 支部審査

各支部に集まった応募作品を支部ごとに審査し、応募数が15点以下は応募数の1/3程度、16～20点は5点を支部入選とします。また、応募数が20点を超える分は、5点の支部入選作品に支部審査委員の判断により、応募数5点ごと（端数は切り上げ）に対し1点を加えた点数を上限として支部入選とします。

② 全国審査

支部入選作品をさらに本部に集め全国審査を行い、H項の全国入選作品を選出します。

1) 全国1次審査会（非公開）

全国2次審査進出作品のノミネートとタジマ奨励賞の決定。

2) 全国2次審査会（公開）

ノミネート者によるプレゼンテーションを実施し、その後に最終審査を行い、各賞と佳作を決定します。なお、代理によるプレゼンテーションは認めません（タジマ奨励賞のプレゼンテーションはありません）。

・ 日時：2017年8月31日（木）11:00～16:00

・ 場所：広島工業大学（大会会場：広島市佐伯区三宅2-1-1）

・ プログラム（予定）：

11:00～ 開場

11:15～13:00 ノミネート者によるプレゼンテーション

（発表時間8分間／PCプロジェクターは主催者側で用意します。パソコン等は各自で用意してください。）

14:00～16:00 公開審査

17:15～18:00 表彰式

* プログラムは、大会スケジュールにより時間が多少前後する場合があります。

③ 審査員（敬称略順不同）

〈全国審査員〉

委員長：末廣 香織（九州大学准教授）

委員：伊藤 恭行（名古屋市立大学教授）

梅沢 良三（梅沢建築構造研究所所長）

三分一博志（三分一博志建築設計事務所主宰）

中山 眞琴（nANAカヤマアーキテクト代表取締役）

藤 浩志（芸術家／秋田公立美術大学教授）

渡辺 菊真（高知工科大学准教授）

〈支部審査員〉

●北海道支部

赤坂真一郎（アカサカシンイチロウアトリエ代表取締役）

久野 浩志（久野浩志建築設計事務所代表）

小西 彦仁（ヒココニシ設計事務所代表取締役）

山之内裕一（山之内建築研究所代表）

山田 良（札幌市立大学准教授）

●東北支部

祝 亜弥（仙台高等専門学校助教）

増田 豊文（東北文化学園大学教授）

増田 聡（東北大学教授）

山口 邦雄（秋田県立大学教授）

不破 正仁(東北工業大学講師)

●関東支部

尾形 直樹(東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所建築計画室室長)

河内 一泰(河内建築設計事務所代表)

桑原 茂(桑原茂建築設計事務所主宰)

小林 恵吾(早稲田大学准教授)

中村 晃子(日建設計設計部門設計部長)

●東海支部

伊藤 孝紀(名古屋工業大学准教授)

伊藤 俊一(名古屋市住宅都市局建築指導部建築審査課長)

太幡 英亮(名古屋大学准教授)

諸江 一紀(諸江一紀建築設計事務所代表)

吉村 昭範(D.I.G Architects代表)

●北陸支部

篠島 弘男(富山県建築住宅センター専務理事)

鈴木 晋(新潟大学特任教員)

高嶋 猛(福井大学講師)

西村 伸也(新潟大学教授)

羽藤 広輔(信州大学助教)

宮下 智裕(金沢工業大学准教授)

●近畿支部

東井 嘉信(大林組建築事業部課長)

江副 敏史(日建設計デザインフェロー)

槻橋 修(神戸大学准教授)

鳥居 久人(昭和設計執行役員)

前田 茂樹(大阪工業大学准教授)

●中国支部

岩本 弘光(岡山県立大学教授)

内田 文雄(山口大学教授)

岡河 貢(広島大学准教授)

小川 晋一(近畿大学教授)

村上 徹(広島工業大学教授)

●四国支部

内野 輝明(内野設計代表取締役)

佐藤 昌平(佐藤昌平建築研究所代表)

平山 昌信(艸建築工房代表取締役)

松浦 洋(松浦設計代表取締役)

●九州支部

大西 康伸(熊本大学准教授)

柴田 晃宏(鹿児島大学准教授)

趙 世晨(九州大学准教授)

野平 勉(竹中工務店九州支店設計部副部長)

牧 敦司(醇建築まちづくり研究所代表取締役)

・優秀賞 数点

賞状・賞牌・賞金(各10万円)

・佳作 数点

賞状・賞牌・賞金(各5万円)

3)タジマ奨励賞:10点以内 賞状・賞牌・賞金(各10万円)

(タジマ奨励賞は、タジマ建築教育振興基金により、支部入選作品の中から、準会員の個人またはグループを対象に授与します。)

②入選の発表

1)入選の発表

・支部審査の結果:各支部より応募者に通知(8/7以降予定)

・全国審査の結果:支部入選者には、全国1次審査結果を8月上旬に通知

・全国入選作品・審査講評:『建築雑誌』2017年11月号誌上発表

・全国入選作品展示:大会会場にて展示

2)支部入選者賞の贈呈:各支部による。

全国入選者表彰式:8月31日(木)広島工業大学(大会会場)

I. 著作権およびその利用

入選作品の著作権は、入選者に帰属します。ただし、建築学会および建築学会が委託したものが、この事業の主旨に則して入選作品を会誌またはホームページへの掲載、紙媒体出版物(オンデマンド出版を含む)および電子出版物(インターネット等を利用して公衆に送信することを含む)、展示などでの公表等に用いる場合、入選者は無償で作品データ等の利用を認めることとします。

J. その他

①応募作品は、返却致しません。必要な方は作品の控えと作品データを保管してください。

②質疑は受け付けません。

③応募規定に違反した場合は受賞を取り消すことがあります。

K. 問合せ(本部・支部事務局)

日本建築学会 各支部事務局 設計競技担当(F⑤参照)

日本建築学会 本部事務局 設計競技担当

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20

TEL 03-3456-2056

H. 賞および発表

①賞

1)支部入選者:支部長より賞状および賞牌を贈ります(ただし、全国入選者・タジマ奨励賞は除く)。

2)全国入選者:次のとおりとします(合計12点以内)。

・最優秀賞 2点以内

賞状・賞牌・賞金(計100万円)